

2027年4月入学
夜間中学の生徒を募集します

学校教育課 73-3131

三豊市立高瀬中学校夜間学級の2027年4月入学生徒を募集します。入学を希望する人は、入学希望者説明会に参加してください。説明会に参加する場合は、事前に申し込みが必要です。



- 日時
- ① 10月30日(金) 午後6時～7時30分
 - ② 10月31日(土) 午前10時～11時30分
 - ③ 10月31日(土) 午後1時30分～3時
- ※当日は、個別相談も予定しています。

場所 高瀬中学校夜間学級

申し込み 学校教育課 ☎ 73-3131 FAX 73-3140

▶詳細はこちらから



ひとり親家庭のお母さん・お父さんへ
就職や資格取得に給付金をご利用ください

子育て支援課 73-3016

ひとり親家庭の母や父が、教育訓練を受講したり、養成機関で修業したりする場合の費用などを給付しています。給付金の受給には、受講前に子育て支援課への相談が必要です。

自立支援教育訓練給付金

ひとり親家庭の母や父が、技術を身に付けるために指定教育訓練講座を受講し、修了した場合

支給額 経費の60% (12,000円～200,000円)

※雇用保険法に基づく教育訓練給付金の受給者は、その受給額との差額になります。

高等職業訓練促進給付金

ひとり親家庭の母や父が、資格取得のため、養成機関で6カ月以上修業する場合

支給額 修業期間の全期間(上限5年) ※資格による

・月額100,000円(市民税非課税世帯)

・月額70,500円(課税世帯)

※最終年度のみ、月額40,000円を加算。

修業期間修了時

・50,000円(市民税非課税世帯)

・25,000円(課税世帯)

対象となる資格や講座

看護師・准看護師、介護福祉士、保育士、理容師・美容師、調理師、デジタル分野の職種 など

※対象となる資格や講座は、受講前に確認してください。



Misa Morimoto

仁尾町出身。22年間、製造業の企業で、品質保証や組織開発に携わる。開発部長として人材開発や広報、Webマーケティングを統括する中で、採用から教育までを刷新し、若手の定着率向上に貢献。

地域全体の採用課題にも向き合い、『地域の人事部』立ち上げ当初から、参加者の1人として活動していました。



▲9月3日に行われた任命式では、山手市長から「民間で培った経験を生かして、思いきってチャレンジしてほしい」と期待の言葉が寄せられました



▲みとよソーシャルビジネスキャンプで、活動について発表する森本さん

9月1日から、中小企業などの人材の確保や育成、定着に取り組む『地域の人事部』において、事務局の運営や既存プロジェクトの伴走、新規プロジェクトの創出支援などを担う地域おこし協力隊として、森本未沙さんが着任しました。

市では、地域企業の人材不足や若者の市外への流出といった課題に対応するため、『地域の人事部』を立ち上げ、企業や行政などが連携し、地域全体での人材確保戦略に取り組んでいます。

仁尾町出身の森本さんは、これまで22年間、製造業で品質保証や組織開発に携わって、開発部長として、

地域おこし協力隊に
森本未沙さん

若者が「ここで働きたい」と思える地域をめざして

地元で育ったからこそ、地域の企業の魅力を伝えたい

「仁尾町で生まれ、豊かな自然の中で、さまざまなことにチャレンジしながら成長してきました。就職する際には必ず地元で働こうと決めていました。進学をきっかけに地元を離れる人が多い一方で、三豊には魅力的な企業がたくさんあるのに、それを知らないまま地元を離れてしまうの

企業と求職者をつなぎ、若者の流出を減らしたい

「これまで、地元の企業で採用や人材育成、広報を担当してきましたが、1つの企業だけでは解決できない課題が多くあります。だからこそ、『地域の人事部』として企業同士がつながり、みんなで考えながら解決していくことが大切だと考えています。今後は、これまで取り組んできた人事担当者同士の学び合いやワークショップなどの活動を

さらに充実させるとともに、企業の魅力を発信し、企業と求職者をつなぐ仕組みづくりに取り組んでいく予定です。民間での22年間の経験と人を巻き込む力を生かして、企業と行政をつなぎながら、若者が『ここで働きたい』と思える地域を作っていきたいです。若者の流出を減らし、三豊に人が入ってくる流れを作ることが目標にしています」

はもったいないと感じています。三豊の企業をもっと多くの人に知ってもらい、地域に根差した活動をしていきたいです。